

日本YMCA同盟

THE  
YMCA

The Young Men's Christian Association News



No.773 2018

2018年1月1日発行（毎月1日発行）  
1947年10月27日 第三種郵便物認可  
本体価格45円（外税）（送料62円）  
発行／公益財団法人 日本YMCA同盟  
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2番11号  
TEL：03-5367-6640 FAX：03-5367-6641  
URL：http://www.ymcajapan.org/  
発行人／神崎 清一 編集人／山根 一毅  
印刷／あかつき印刷株式会社



# 身近な「世界の片隅」に 新しい旗を掲げる

## ～ポジティブネットの根幹を考える～

YMCAの新しいブランドロゴやブランドスローガンの発表から3カ月。建物の看板が新しくなったり、新しいロゴの付いたユニホームを着ているスタッフやメンバーも見掛けるようになりました。新しいものにはワクワクしますし、多くの人びとの目や心を引きつける力があります。

ブランディングでは日本のYMCAが持っている価値を今一度見直し、その価値をより分かりやすい言葉にしたり、発信する方法を統一するだけでなく、YMCAの働きがより豊かなポジティブネットのある社会を作っていけるよう、さまざまな新しい取り組みを生み出します。

しかし新しく変わったもの、は今までとは違うものではなく、私たちがこれまで「イエス・キリストの愛と奉仕の生き方」に学び実践してきたことを、未来へとつなげていくための変化です。

今号ではあらためて、YMCAの使命とポジティブネットの根幹について考えるため、広島女学院大学准教授でチャプレンである澤村雅史さんにご寄稿いただきました。



### ジョージ・ウィリアムズ

ロンドンの呉服屋で働く熱心なクリスチャンの青年だったが、当時の劣悪な労働環境の中、仲間と祈りの会を始める。

1844年22歳の時、同世代の仲間の人格的成長や生活改善などのため世界で最初のYMCAをロンドンで組織した。

### 賢者の願いごと

皆さんは、今冬のクリスマスをどのようにお過ごしになられましたか？また、これまでで最も思い出に残るクリスマスには、どんなことがあったでしょうか？

あるクリスマス・イブのこと、街の片隅の、ひとりの平凡で孤独な青年のところに、突然サンタクロースが現れます。望みを何でもかなえてくれるというサンタさんに、彼は熟考の末、「自分より気の毒な人のところに行ってほしい」と願います。彼に答えて、その近所に住む病弱な少女を訪れたサンタさんに、彼女はしかし、「自分より気の毒な人のところに行ってほしい」と願います。少女の願いによって訪れた強欲な金貸しもなぜかまた同じように願い、そして……（星新一『ある夜の物語』）。

この善意の連鎖に連なった人たちは、サンタがくれる幸福を先送りしたはずなのに、誰もが喜びに満たされていきます。結末はぜひ本編をお読みいただきたいのですが、この物語に表された、目の前の損得や、計量・換算・比較の対象となる種類の豊かさを度外視して隣人の幸福を願い、また、その「隣人」の枠を広げていこうとする営みによって、自らもまた喜びに満たされていくという関係性は、まさに私たちが新しく「ポジティブネット」と名付けた社会のあり方に似ています。

### 「神の国」と「メタノイア」～イエス・キリストのブランディング

「ポジティブネット」とは新しい言葉ですが、その内容は、このたびのブランディングに合わせて新規開発されたものではありません。「すべての人びとに、平等な機会と正義が実現され」「愛と理解にみちた人間関係」が相互に結ばれる、といった『カンパラ原則』（1973年）の5つの目標や、『チャレンジ21』（1998年）が示す7つの課題への取り組みを通して実現されていく「愛に基づく正義と平和と和解に満ちた人間性溢れる社会」、そして『日本YMCA基本原則』（1996年）における私たちの使命として、その時々において確認され、各ローカルYMCAにおける一人ひとりの働きと関係性の中で誠実に追求され続けてきた理想なのです。そして、それは私たちの主イエス・キリストが、その宣教のはじめに「神の国」として私たちに示してくださったものであることは、これらの原則の基である『パリ基準』\*（1855年）が示すとおりです。

この「神の国」に入るための鍵は、「メタノイア」とあるとイエス様は教えてください（マルコ1:15）。「メタノイア」とは日本語訳聖書では多くの場合「悔い改め」と訳されますが、語源的には「悔いる」と「改める」ことよりも、**新しい視点や価値観に出会うことによって、それまでの認識や考えの枠組みがひっくり返されること**こそを、指す言葉です。

※裏面をご参照ください

## この世界の片隅に掲げよ、我らの新しい旗を！

強さ・多さ・効率・速さを求め、それらによって実現される、目に見える豊かさを賞賛する社会では、弱いもの・効率的でないもの・遅いもの・小さいもの・貧しいものは、片隅に追いやられていきます。しかし、このような社会が「持続可能」ではないことは、今や誰の目にも明らかです。私たちが片隅と見なすところに、神のまなざしの中心があると気付くことこそ、今私たちに必要な「メタノイア」であり、「神の国」に至る道なのです。冒頭に紹介した物語でサンタと出会った人たちは、豊かさとは何かについての「メタノイア」を経験したといえるでしょう。それは自分自身の心の奥底深くにある願いが「みつかる」経験となり、彼らはその願いに従って隣人と「つながる」ことへと導かれ、そのことによって自分自身と世界が「よくなっていく」ことを体験したのです。

私たちの原点である、1844年にロンドンの片隅で、仲間たちとともに「メタノイア」を求めた、かの青年の思いと働きは、2,000年前のガリラヤの片隅で「神の国」の到来を叫んだあの方の声への応答でした。そして、私たちは今、この応答に「メタノイア」をもって連なるという決断を、新しい旗(ロゴ・スローガン)によって、あらゆる片隅から、新たに示そうとしているのです。



澤村雅史氏  
広島女学院大学准教授・チャプレン  
広島YMCAチャプレン  
日本YMCA同盟ミッション委員

### パリ基準

1973年カンバラに参集した第6回世界同盟総会の代議員は、1855年に採択されたパリ基準を、世界YMCA同盟を創出し継続させてきた信念と目的とをあらわしてきたものとして承認し、各国YMCA同盟および準加盟団体は、以下にかかげるパリ基準を今後世界同盟に加わる各国YMCA同盟を承認する基準とすることを決議する。すなわち、

われら世界のYMCAは、イエス・キリストを聖書に従ってわが神わが救い主と仰ぎ、信仰とその生活において彼の弟子でありたいと願う青年たちを一つとし、イエス・キリストの精神が広く青年の間に生かされるよう、その努力を結集する。

その他のことならについての意見の相違は、それ自体としていかに重要であっても、そのことによって世界同盟を構成する加盟および準加盟YMCAの間の友好的な関係をそこなうものであってはならない。

## Positive Net NEWS

### 2017年度世界YMCA/YWCA合同祈禱週

【神戸YMCA/YWCA合同礼拝】

世界YMCA/YWCA合同祈禱週は、毎年11月第2週目の日曜日から1週間、日本全国そして世界中で実施されています。神戸ではYMCA/YWCA合同礼拝が11月14日に行われ、ジェフリー・メンセンディーク氏にメッセージをいただきました。

メッセージの中で「立ち上がり、思い切っていいなさい～抑圧や、差別におかれた人びとの声を」という今年度の合同祈禱週のテーマは、まさにヘブライ語の「アナウィーム」であるとお話してくださいました。

「アナウィーム」とは、聖書にも出てくる言葉ですが、日本語では貧しい人と訳されることが多いようです。富める人が自分に誇りや自信を持ち、神を頼る必要のない人とすれば、この場合の貧しい人は神を頼らないと生きていけない人と言うそうです。



ジェフリー・メンセンディーク氏(関西学院大学教員)

この言葉に関連して、メッセージの中でお話しされた、ジェフリー氏が来日後に関わりを始めたインドのDEEP\*というNGOの活動について紹介します。

インドの少女たちは、家族の事情などで高校卒業までの教育を途中で断念しなければならぬことが少なからずあります。DEEPでは、2007年から彼女らを定期的に集めて、学年末の試験をパスできるように補習教育の機会を奨学生として提供しています。卒業の資格を取得した生徒たちは、その後教師や看護師、保育士となり活躍しています。

また、この奨学生たちは村での他の子どもたちに勉強を教えたり、字が読めない村人たちの読み書きを手助けしています。このような取り組みが、奨学生のボランティア精神を養い、社会貢献を促す機会にもなって、彼女たちの努力は次第に地域に認められました。今まで自分の名前さえ書いたり、読んだりしたことのない人びとから、彼女たちは教育の真髄を広げる「小さな天使たち」と呼ばれているそうです。

神戸YMCA 達直樹

\*1982年にH.ブラカーシュ夫人によってチャティスガル州ジャルハガオンに設立。地域の保健衛生や福祉の課題に取り組むNGO団体

### アジア・世界のYMCAから

#### □南極にできた新しいYMCA [アルゼンチンYMCA]

アルゼンチンの南極基地に新しいYMCAが誕生しました。アルゼンチンYMCAは地球上で最も過酷な場所で働く人びとに寄り添い、その価値を伝えることとなります。

YMCA史上初、南極にYMCAが誕生したことにより、今後は他の基地にも広がっていくかもしれません。

#### □気候変動に関するユース宣言 [アジア・太平洋YMCA同盟]

10月10～20日に韓国・大邱<sup>テグ</sup>で行われた「気候変動カンファレンス」に8カ国から16人のチェンジ・エージェントが参加しました。学び・フィールドトリップ・ディスカッションを通して得た気付きから、課題解決のための「気候変動への関心と責任を持つ市民としてのビジョン」を作成し、各国で取り組むことを確認しました。

また、気候変動についての教育を各国・地域のYMCAで継続的に行っていこう、アジア・太平洋同盟に対して提案しました。

#### □Bounce Appeal「跳ねる」募金 (Bounce=跳ねる) [ニュージーランドYMCA]

ニュージーランド南島のカンタベリー地方の町、ティマルのYMCAでは、ゴムボールを使ってアピールする「跳ねる」募金活動に取り組んでいます。この募金は、地元の若者たちを対象にした非行やストレス予防対策プログラムの普及に用いられます。

今回の「跳ねる」募金活動は、若者たちのさまざまなリスクを「Bounce Back=跳ね除ける」ということをより多くの人に伝えたいという願いから発想しました。



各所で行われた街頭募金のアピール

●記事の続きは日本YMCA同盟の「世界のYMCA」ページに掲載しています。ぜひお読みください。

日本YMCA同盟

検索